

■9月10日（土）午前

会場	講堂
	S1. 太陽系固体惑星地質探査：イトカワから火星・金星まで 座長：石渡 明（1-5）、塚本尚義（6-10）
9:00	9:00 趣旨説明. 石渡 明 9:05 小惑星探査機はやぶさが回収したイトカワレゴリス粒子の3次元構造と初期分析におけるX線マイクロCTの役割. 土山 明・上相真之・松島亘志・道上達弘・門野敏彦・中村智樹・上杉健太郎・中野司・サンドフォード スコット・野口 遼・松本 徹・松野淳也・永野 崇・今井悠太・竹内晃久・鈴木芳生・大神稔皓・片桐 淳・海老原 充・アイルランド トレバー・北島富美雄・長尾敬介・奈良岡 浩・野口高明・岡崎隆司・塚本尚義・Michael Zolensky・向井利典・安部正真・矢田 達・藤村彰夫・吉川 真・川口淳一郎 9:25 小惑星探査機はやぶさが回収したイトカワ微粒子の鉱物学的研究. 中村智樹・野口高明・田中雅彦・マイク ソレンスキー・木村真・土山 明・中藤亜衣子・大神稔皓・石田初美・上相真之・矢田達・白井 慶・岡崎隆司・スコット サンドフォード・脇田 茂・藤村彰夫・石橋之宏・安部正真・岡田達明・上野宗孝・向井利典・吉川 真・川口淳一郎 9:45 大気のない小天体表面の地質学的過程と小天体表面物質の鉱物科学. 野口高明 10:05 小惑星2008 TC3に由来する隕石ユレイライトと炭素質物質. 宮原 正明・大谷栄治・El Goresy Ahmed・長瀬敏郎・西嶋雅彦 10:25 将来火星探査計画における地質学の役割. 後藤和久・小松吾郎 10:45 衛星のテクトニクス. 山路 敦 11:05 月高地地殻の化学組成. 大竹真紀子 11:25 SELENE-2の着陸場所推薦. 佐伯和人・荒井朋子・荒木博志・石原吉明・大竹真紀子・唐牛 讓・小林直樹・春山純一・杉原孝充・本田親寿・佐藤広幸 11:45 総合討論. 塚本尚義

共通1大	
R19. テクトニクス	
座長：佐藤活志（1-4）、加藤直子（5-8）、藤内智士（9-12）	
9:00	R19-O-1 新潟中越地域2010年東山-三島測線地殻構造探査の成果. 佐藤比呂志・阿部 進・斉藤秀雄・白石和也・加藤直子・石山達也・岩崎貴哉・河合展夫・稲葉 充 9:15 反射法地震探査による新潟平野東縁悠久山地域の地質構造. 加藤直子・佐藤比呂志・石山達也・阿部 進・斉藤秀雄・越谷 信・戸田茂・稲葉 充 9:30 San Andreas Fault における断層スタイルの変化. 林 大五郎・Koirala Matrika P. 9:45 2011年4月11日福島県浜通りの地震に伴い井戸沢断層に沿って出現した地震断層の特徴. 丸山 正・斎藤英二・吾妻 崇・谷口 薫・吉見雅行・林田拓己・齋藤 勝 10:00 速報異地性デュプレックスをなす跡津川断層露頭. 大坪友英・中村典之・吉岡修司・井上雅裕 10:15 根尾谷断層破砕帯における微量元素の濃集と最新すべり面との関係. 大谷具幸・香名亮輔・小嶋 智・若居勝二・各務和彦・榎並正樹 10:30 中部日本. 諏訪-八ヶ岳火山地域にみられる第四紀火成岩岩脈群が示す二つの卓越方向. 藤内智士・西来邦章 10:45 新潟県北部, 荒川下流地域の第三系と基盤岩類におけるE-W~NW-SE走向横断断層の特徴. 豊島剛志・栗田裕司・石川夕夏子 11:00 層面すべり方向の観察による対馬の褶曲時期の検討. 柳澤達彦・山路 敦・佐藤活志 11:15 熊野花崗斑岩の東偏古地磁気方位の意味. 星 博幸・神谷直宏・川上 裕 11:30 西南日本外帯の帯状構造に反時計回りに斜交する断層・剪断帯群一特に上生非川断層の変位量分布について一. 山北 聡 11:45 消えたフェニックスプレートの謎. 高橋雅紀

共通32	
T18. ジュラ系十	
座長：中田健太郎（1-4）、柿崎喜宏（5-8）	
9:00	T18-O-1 Campanian期後期に北太平洋に生息した放散虫群集 - 淡路島南西部の和泉層群北縁相から得られた放散虫化石-. 吉野恒平・松岡 篤 9:15 九州西部, 八代地域の走水コンプレックスから産したジュラ紀古世放散虫化石群集. 石田直人 9:30 ボルネオ島北西部, 上部ジュラ系~下部白亜系バウ石灰岩の半深海相の化学層序から推定される環境変化. 柿崎喜宏・長谷川 卓・狩野彰宏・ヴァイサート ヘルムット 9:45 石川県の手取川流域北部に分布する手取層群の層序と植物化石群. 酒井佑輔・松岡 篤 10:00 Recent progress on the nonmarine Jurassic/Cretaceous boundary in northern China. Li Gang 10:15 南相馬市の相馬中村層群小山田層の新産地から得られた白亜紀初期のアンモナイトおよびオウムガイ群集. 佐藤 正・竹谷陽二郎・八巻安夫・柄久保廣泰・荒 好・平 宗雄・岸崎晃一郎・二上文彦・田村 翼・松岡 篤 10:30 Toarcian期前期の海洋無酸素事変とアンモナイト群集の多様性低下-西南日本の下部ジュラ系豊浦層群の例. 中田健太郎・松岡 篤 10:45 下部ジュラ系Pliensbachian-Toarcian階のアンモナイト/放散虫層序-Toarcian期の海洋無酸素事変の理解に向けて. 松岡 篤・中田健太郎
R23. 応用地質学一般およびノンテクトニック構造 座長：須藤 宏（1-2）	
11:00	R23-O-1 岐阜・福井県境稜線にみられる山体重力変形地形の特徴. 小嶋智・徳永浩之・大谷具幸 11:15 平成23年4月11日福島県浜通りの地震による被害状況と地形・地質との関連. 小荒井 衛・岡谷隆基・小林知勝・飛田幹男・脇坂安彦・佐々木靖人・阿南修司
R22. 環境地質 座長：田村嘉之（1-2）	
11:30	R22-O-1 千葉県観測井の孔内地下水の温度 - 浅い観測井における深度方向分布と季節変化・日変化-. 古野邦雄・香川 淳・吉田 剛・風岡修・楠田 隆・加藤晶子・酒井 豊・山本真理 11:45 新潟砂丘の地形改変-とくに, 1911年以降の高さの変化-. 仲川隆夫

※R1~R5, T1~T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. S1~S3, R6~R25, T9~T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています.
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

■9月10日（土）午前

会場	共通33	共通36	共通3大
	R12. 海洋地質	T11. 平野地質	T9. 地質情報の利活用
	座長：大岩根 尚 (1-4), 吉河秀郎 (5-8)	座長：卜部厚志 (1-3), 田村 亨 (4-5)	座長：野々垣 進 (1-3)
9:00	9:45 R12-O-1 鹿児島県薩摩硫黄島長浜湾の鉄沈殿物の特徴：10年間の気象及び火山活動記録・海底温度変化の対応関係について。上芝卓也・清川昌一・永田知研・二宮知美・池上郁彦・小栗一将・伊藤 孝・池原実・山口耕生・後藤秀作	9:30 T11-O-1 地中レーダーを用いた地震性バリアーシステム解明計画。七山 太	9:00 T9-O-1 地質情報の利活用の促進－20万分の1日本シームレス地質図を用いた例－。齋藤 眞・西岡芳晴・森尻理恵・宝田晋治・巖谷利光・野々垣淑恵
	10:00 R12-O-2 薩摩硫黄島長浜湾の鉄に富む現世堆積物中の希土類元素の地球化学。冀和雄人・阿部 茜・山口耕生・清川昌一・上芝卓也・永田知研・池原 実・伊藤 孝	9:45 T11-O-2 地中レーダー・地層分布不連続解析による神戸市街地の地下構造評価。宮田隆夫・浅野由莉・苦瓜泰秀	9:15 T9-O-2 シームレス地質図のスマートタイル化－Web-GISからの脱却－。西岡芳晴・野々垣 (眞坂) 淑恵
	10:15 R12-O-3 南極海インド洋セクター南緯65度から採取された海洋コアの堆積年代と古環境。村山雅史・多賀順一・山本裕二・加藤義久	10:00 T11-O-3 鳥取砂丘の過去500年間における形成過程：地中レーダーとルミネッセンス年代を用いた復元。田村 亨・渡辺和明・山口直文・松本弾・小玉芳敬・Bateman Mark・齋藤 有	9:30 T9-O-3 Android携帯端末の地質調査への応用。小島佑季彦・西開地一志・豊田 守
	10:30 R12-O-4 白鳳丸KH-10-7次航海による南大洋インド洋区の海洋地質調査の成果～コンラッド・ドリフトとエンダービーランド沖のタービダイト～。池原 実・野木義史・香月興太・岡本周子・中村恭之・大岩根尚・佐藤太一・三浦英樹・菅沼悠介・山根雅子・横山祐典・松崎琢也	10:15 T11-O-4 出雲平野から得られたボーリングコアによる古環境変遷と平野の形成過程。岡崎裕子・瀬戸浩二・高田裕行・酒井哲弥・大木彩加・山田和芳・那須浩郎・渡邊正巳	
	10:45 R12-O-5 反射断面に記録された南極周極流の変化。大岩根 尚・池原 実・菅沼悠介・中村恭之・野木義史・佐藤太一	10:30 T11-O-5 新潟県、柏崎・刈羽地域の沖積層の層序と堆積過程。卜部厚志	
	11:00 R12-O-6 2011年東北地方太平洋沖地震の震源域付近の反射法音波探査。荒井晃作・岡村行信・井上卓彦・池原 研・佐々木智之	R13. 堆積物（岩）の起源・組織・組成	
	11:15 R12-O-7 熊野トラフに発達する泥火山を用いた海底下深部物質の地質学的研究。村岡 諭・芦寿一郎・金松敏也・坂口有人・稲垣史生	座長：太田 亨 (1-4)	R10. 地域地質・地域層序
	11:30 R12-O-8 現世及び新生代海洋におけるマンガングラストの形成史と環境。白井 朗・高橋嘉夫・伊藤 孝・鈴木勝彦・浦辺徹郎・得丸絢加・ソートン プレア・坂口 綾・小田啓邦・加藤真悟	10:45 R13-O-1 三畳紀初期における大陸風化の減少－中央ネパール・テチスヒマラヤ、マナン地域の例－。吉田孝紀・川村寿郎・鈴木茂之・足立佳子・ディタール メグ ラジ	座長：松原典孝 (1-3), 村田明広 (4-6), 吉川敏之 (7-9)
		11:00 R13-O-2 西南日本外帯秩父累帯のジュラ紀付加体中の碎屑性ザクロ石の化学組成と碎屑性ジルコンの年代分布。宮本隆実・池内瑠美・桑水流淳二・早坂康隆	9:45 R10-O-1 北海道中央部、三畳紀石灰岩体の岩相と化石相（予報）。川村寿郎・菅井由貴
		11:15 R13-O-3 紀伊半島四万十帯砂岩の重鉱物組成と碎屑性ザクロ石組成の時代的变化から推定される後背地の変遷。別所孝範	10:00 R10-O-2 神居古潭帯・糠平岩体由来のロジン岩化蛇紋岩質テクトナイト。東豊土・加藤孝幸
		11:30 R13-O-4 動的画像解析法を用いた堆積物の粒度分析手法の現状と技術的課題。七山 太・小笠原正継	10:15 R10-O-3 大須賀海岸における2011年東北地方太平洋沖地震の津波による地形改変と津波堆積物。鎌田耕太郎
			10:30 R10-O-4 神戸層群凝灰岩のRb-Sr年代と起源。吉田敏和・寺門靖高
			10:45 R10-O-5 紀伊半島西部、松原地域に分布する秩父累帯上部白亜系の層序とフィッション・トラック年代。松本孝之
			11:00 R10-O-6 広島県東部の川井石灰岩産石炭紀アンモノイド。永広昌之・西川治・西川 功
			11:15 R10-O-7 四国東端炭石海岸の秩父南帯白亜紀前期付加コンプレックスと前弧海盆堆積物。石田啓祐・鈴木茂之・山下真司
			11:30 R10-O-8 四国西部・中東部の御荷鉾緑色岩類周辺の地質構造。村田明広・前川寛和
			11:45 R10-O-9 対馬北部に分布する対州層群上部層の堆積環境。二宮 崇・下山正一・宮田雄一郎・山中寿朗・松田博貴・青木隆弘・西田民雄・市原季彦

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

■9月10日（土）午後

会場	講堂
	T20. 自然のめぐみとジオパーク（公開セッション） 座長：渡辺真人（1-4），高木秀雄（5-8），天野一男（9-12）
14：30	15：30 T20-O-1 自然災害とジオパークー茨城県北ジオパーク構想を例としてー， 天野一男
	15：45 T20-O-2 変動帯におけるジオパークー室戸ジオパークの例ー， 殿谷 梓 ・ 柚洞一央 ・ 柴田伊廣
	16：00 T20-O-3 山陰海岸ジオパークにおける直下型地震遺産の保存と活用， 松原典孝 ・ 先山 徹
	16：15 T20-O-4 なぜ花崗岩のことをみかげ石と呼ぶかー六甲山地がもたらした災害と恵みー， 先山 徹
	16：30 T20-O-5 地すべりが育む山村の暮らしー糸魚川ジオパーク，権現岳ジオサイトの例ー， 竹之内 耕 ・ 宮島 宏 ・ 茨木洋介
	16：45 T20-O-6 プレートがもたらした地下からの美しい便りー糸魚川世界ジオパークの翡翠の価値と謎ー， 宮島 宏 ・ 竹之内 耕 ・ 茨木洋介
	17：00 T20-O-7 1888年の磐梯山噴火による災害と恩恵， 竹谷陽二郎 ・ 佐藤 公
	17：15 T20-O-8 「銚子ジオパーク」構想の解説とこれまでの活動紹介， 安藤生大
	17：30 T20-O-9 博物館の役割と貢献（中国ジオパークに学ぶ）， 太田泰弘 ・ 野井英明
	17：45 T20-O-10 世界ジオパークネットワークと日本ジオパークネットワークの現状， 渡辺真人
	18：00 T20-O-11 いわて三陸ジオパーク構想と東日本大震災， 永広昌之 ・ 伊藤 仁 ・ 大石雅之
	18：15 T20-O-12 三陸ジオパーク設立にむけて（提案）， 高木秀雄 ・ 渡辺真人

人文10
R6. 深成岩・火山岩及びサブダクションファクトリー 座長：足立佳子（1-4），亀井淳志（5-8），土谷信高（9-11,16），伴 雅雄（12-15）
14：30 R6-O-1 マリアナ海溝南部カンラン岩の岩石学的特徴と構造， 道林克禎 ・ 上原茂樹 ・ 小原泰彦 ・ 石井輝秋
14：45 R6-O-2 世界最深の海洋底かんらん岩，トンガ海溝かんらん岩の構造岩石学的研究， 新海優里 ・ 道林克禎 ・ 上原茂樹 ・ 石井輝秋
15：00 R6-O-3 新宮マフィックー超マフィック捕獲岩から推定される四国北部の深部リソスフェアの構成， 野口 渉 ・ 水上知行 ・ 荒井章司 ・ 田村明弘
15：15 R6-O-4 西オーストラリア，ピルバラ地塊の花崗岩体より産出する苦鉄質包有岩の記載岩石学的研究， 鈴木和恵 ・ 山本伸次 ・ 横山隆臣 ・ 平田岳史 ・ 丸山茂徳
15：30 R6-O-5 オマーンオフィオライト北部における大規模ウェールライト岩体の発見， 金子 龍 ・ 三瓶 崇 ・ 足立佳子 ・ 宮下純夫
15：45 R6-O-6 オマーンオフィオライト北部の後期火成岩類の岩石化学的性質とその成因， 土谷信高 ・ 足立佳子 ・ 宮下純夫 ・ 柴田知之 ・ 芳川雅子
16：00 R6-O-7 海嶺セグメント内部における溶岩層の系統的变化ーオマーンオフィオライトの例， 草野有紀 ・ 足立佳子 ・ 宮下純夫 ・ 海野 進
16：15 R6-O-8 日高変成帯，音調津斑れい岩マグマとメタルミナスターナル岩マグマの成因関係， 小島 萌 ・ 志村俊昭
16：30 R6-O-9 原生代に活動した東南極セール・ロンダーネ山地のアダカイト質・非アダカイト質変トータル岩の地球化学的特徴， 亀井淳志 ・ 大和田正明 ・ 柚原雅樹 ・ 志村俊昭 ・ 東田和弘 ・ 寺尾まどか ・ 原 有希 ・ 手打晋二郎
16：45 R6-O-10 近畿地方の100Maアダカイト質安山岩・花崗岩，高Nb玄武岩およびスベッサルタイト岩脈の地球化学， 今岡照喜 ・ 君波和雄 ・ 平松圭 ・ 大平 武 ・ 亀井淳志 ・ 板谷徹丸 ・ 貴治康夫
17：00 R6-O-11 小豆島における領家苦鉄質岩脈の岩石化学的特徴とその起源， 小泉奈緒子 ・ 奥平敬元 ・ 隅田祥光
17：15 R6-O-12 山陰帯島根県横田地域に分布する阿毘緑花崗閃緑岩の地質学的・岩石学的研究， 岩田智加 ・ 亀井淳志 ・ 岩田克彦
17：30 R6-O-13 西南日本白亜紀ー古第三紀花崗岩に関する年代学的，岩石学的研究および数値計算， 飯田和也 ・ 岩森 光 ・ Park Taeho ・ 折橋祐二 ・ Yong-Joo Jwa ・ Sung-Tack Kwon ・ 檀原 徹 ・ 岩野英樹
17：45 R6-O-14 山口県見島の後期中新世アダカイト質安山岩の微量元素およびSr，Nd同位体化学組成， 藤林紀枝 ・ 山田雅和 ・ 永尾隆志 ・ 寺岡康一郎
18：00 R6-O-15 伊豆半島，南崎ベイサナイトの岩石化学的特徴と単斜輝石岩包有物について， 大鹿淳也 ・ 荒川洋二 ・ 遠藤大介 ・ 新村太郎
18：15 R6-O-16 東北日本，鳥海山の歴史時代噴火噴出物の岩石学的研究， 伴 雅雄 ・ 中村潤子 ・ 廣谷志穂 ・ 林 信太郎 ・ 大場 司 ・ 周藤賢治

人文11
R1：鉱物記載・分析評価 座長：赤坂正秀（13-15），黒澤正紀（16-18）
14：30 R1-13 EPMAによる黒雲母の化学組成式：結晶化学と成因的意義， 花田 遼平 ・ 木股三善 ・ 清水雅浩 ・ 星野美保子 ・ 越後拓也 ・ 西田憲正 ・ 中野聰志
14：45 R1-14 合成白雲母と砥部石の遠赤外吸収スペクトル， 石田清隆
15：00 R1-15 日本の新第三紀花崗岩の熱水流体の組成と挙動， 黒澤正紀 ・ Shin Ki-Cheol ・ 笹 公和 ・ 石井 聡
15：15 R1-16 天然および合成ピンク・ダイヤモンドの物性評価と宝石鑑別， 北脇裕士 ・ 岡野 誠 ・ 阿依 アヒマディ ・ 川野 潤
15：30 R1-17 島根県隠岐の島大久産レールズライトゼノリス中のかんらん石におけるFeの酸化数とその存在状態， 江島輝美 ・ 赤坂正秀 ・ 大藤弘明
15：45 R1-18 Low-temperature Sr enrichment in mantle pyroxenes as a result of crustal alteration in plagioclase lherzolite， Tahmineh Pirnia ・ Shoji Arai ・ Akihiro Tamura ・ Satoko Ishimaru ・ Ghodrat Torabi

※R1～R5，T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。S1～S3，R6～R25，T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合，講演要旨を正しいものとします。

■9月10日（土）午後

会場	人文13	
	T5：地殻流体のダイナミズム：変形および変成作用に及ぼす流体の影響	
	座長：竹下 徹 (01-02), 岡本和明 (03-05), 石丸聡子 (06-08), 森下知晃 (09-11), 針金由美子 (12-14)	
14：30	14：45	T5-01 メルト熱移流による高温型変成帯の形成. 宮崎一博
	15：00	T5-02 北Qaidam山地, 勝利口橄欖岩に見られる超高压変成作用以前に起きた高塩濃度流体による変質作用の鉱物学的証拠. 苗村康輔・楊建軍・下林典正
	15：15	T5-03 超塩基性メランジにおける流体-岩石相互作用と変形：アインコン法を用いた研究例. 森 康・重野未来・西山忠男
	15：30	T5-04 K-cymrite (KAlSiO ₈ ・H ₂ O) とその無水相のラマン分光. 神崎正美・薛 猷宇・Amalberti Julien・Zhang Qian
	15：45	T5-05 高压変成作用下の交代作用による白色片岩の形成. 平島崇男・コンパニョーニ ロベルト
	16：00	T5-06 フィリピン海パレスペラ海盆のゴジラムリオンから採取されたはんれい岩に含まれる角閃石の地球化学的特徴. 針金由美子・森下知晃・Snow Jonathan・田村明弘・道林克禎・小原泰彦・荒井章司
	16：15	T5-07 相平衡変成岩岩石学と物質移動の地球化学の融合：全体像の解明に向けて. 宇野正起・中村仁美・岩森 光
	16：30	休憩
	16：45	T5-08 ロシア極東, Ust'-Belayaオライトのマンタルかんらん岩から見えてきた前弧域かんらん岩の多様性. 町 澄秋・石渡 明・森下知晃・早坂康隆・Ledneva Galina V.・Sokolov Sergey D.・Palandzhyan Suren A.・Moiseev Artem V.・Bazylev Boris A.
	17：00	T5-09 (Invited) Ca-metasomatism in the oceanic mantle as the result of high-T hydrothermal circulation: evidence from diopside dykes in the Oman ophiolite. Marie Python・Masako Yoshikawa・Tomoyuki Shibata・Georges Ceuleneer・Shoji Arai
	17：15	T5-10 一気圧での不混和メルト間の微量元素と希土類元素の分配実験. 佐藤 桂・Ellis David, J.・Christy Andrew, G.
	17：30	T5-11 プレート境界における交代作用不安定とせん断不安定. 鳥海光弘・福山繭子
	17：45	T5-12 溶液-沈殿クリーブに関連する水の分布とその拡散性. 福田惇一・奥平敬元
	18：00	T5-13 衝突帯大断層流体の化学 -台湾Lishan断層中の石英脈流体包有物の化学組成-. 岡本和明・飯島千尋・黒澤正紀・チャン ユーチャン・寺林 優
18：15	T5-14 下部地殻条件下における弾性波速度への水の影響. 石川正弘・堤大輔	

人文14	
R5：地球外物質	
座長：橋 省吾 (01-06), 海田博司 (07-12)	
14：30	R5-01 ベルギー-日本共同南極隕石探査による「あすか10隕石」の発見と採集. 海田博司・Goderis Steven・Debaille Vinciane・小島秀康・Claeys Philippe
14：45	R5-02 Tagish Lake隕石のコンドリユール/リムとクラスト：母天体における活発な角礫岩化作用の証拠. 高山亜紀子・留岡和重
15：00	R5-03 Ningqiang隕石中のネフェリンの分布と鉱物学的特徴：TEM, SR-XRDによる研究. 松本 恵・留岡和重・瀬戸雄介・杉田光弘
15：15	R5-04 微隕石のとけ残り鉱物：フェロアンなかんらん石と低Ca輝石. 今柴直也・テイラー スーザン・岩田尚能
15：30	R5-05 エフレモフカ隕石中衝撃溶融脈の微細組織観察：衝撃溶融による物質進化過程. 瀬戸雄介・関川知里・三宅 亮・留岡和重
15：45	R5-06 火星隕石より発見されたオリビンの高压分解組織. 宮原正明・大谷栄治・小澤 信・木村 眞・El Goresy Ahmed・境 毅・長瀬敏郎・平賀賢二・平尾直久・大石泰生
16：00	R5-07 高压シリカおよび長石鉱物のカソードルミネッセンス. 裕・西戸裕嗣・関根利守・蛭川清隆
16：15	R5-08 月地殻と小天体での分化過程の輝石を中心とした比較. 武田 弘・唐牛 讓・山口 亮・長岡 央・大竹真紀子・廣井孝弘
16：30	R5-09 小惑星ベスタのマグマ大洋固化後の火山活動：HED隕石からの事実. 山口 亮・伊藤元雄・バラット ジーンアリックス
16：45	R5-10 Almahata Sitta隕石から推測した小惑星2008TC ₃ の構造. 三河内 岳・ブレンスキー マイケル・ホフマン ビクトール
17：00	R5-11 放射光マイクロXANESによるユークライト中斜長石の鉄の酸化状態. 佐竹 渉・ブキャンナン ポール・三河内 岳・宮本正道
17：15	R5-12 火星隕石と高压実験により推定した火星マンタルの融解条件. 松影香子・長與陽子

人文15	
T4：レオロジー 地殻からコアまで	
座長：片山郁夫 (01-04), 西原 遊 (05-08), 大内智博 (09-12)	
14：30	T4-01 (招待) 岩石のレオロジーからみる東北日本弧の変形. 武藤 潤
14：45	T4-02 非対称性背弧拡大時における海洋下部地殻のレオロジー. 道林克禎・針金由美子・小原泰彦
15：00	T4-03 チベット中央部のナムツォ湖周辺に分布する段丘から制約した高い粘性を持つ中部地殻. ウォリス サイモン・森 宏・小澤和浩・鷲谷 威・中村俊夫・時 丕龙
15：15	T4-04 界面エネルギーを考慮した動的再結晶粒径モデル. 清水以知子
15：30	T4-05 アルバイト分解反応と塑性流動の相互作用. 土井菜保子・加藤工・久保友明・野田真彦・白石 令・鈴木昭夫・大谷栄治・亀掛川卓美
15：45	T4-06 斜長石とかんらん石の相対強度から考察する地球型惑星内部のレオロジー層構造. 東 真太郎・片山郁夫
16：00	T4-07 高温高压実験によるスピネル-ガーネットかんらん岩相転移のメカニズムとカインネティクスに関する研究. 永吉麻衣子・久保友明・加藤 工
16：15	T4-08 かんらん岩の流動強度における含水メルトの効果. 大内智博・西原 遊・川添貴章・シュベングラー デイルク・白石 令・鈴木昭夫・大谷栄治・亀掛川卓美
16：30	T4-09 粒径依存型クリーブにおける二相分率と粒成長・変形挙動との相関. 田阪美樹・平賀岳彦
16：45	T4-10 上部マンタル深部でのカンラン石のレオロジー. 西原 遊・大内智博・川添貴章・シュベングラー デイルク・田阪美樹・平賀岳彦・亀掛川卓美・鈴木昭夫・大谷栄治
17：00	T4-11 マンタル遷移層温度圧力条件下での含水ウォズリアイトのクリーブ強度放射光その場測定. 実験. 川添貴章・西原 遊・大内智博・西真之・肥後祐司・舟越賢一・入船徹男
17：15	T4-12 三軸変形川井型装置による下部マンタル条件下での(Mg, Fe)SiO ₃ -ペロプスカイトの変形実験. 辻野典秀・西原 遊・瀬戸雄介

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション. S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです. 講演番号は双方の学会の付け方に準じています.
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合, 講演要旨を正しいものとします.

■9月10日（土）午後

会場	共通1大	共通32	共通33
	T10. 日本列島の地体構造区分と構造発達史	R22. 環境地質	T16. 地層処分と地球科学
	座長：磯崎行雄（1-4）、山本伸次（5-10）、青木一勝（11-16）	座長：田村嘉之（3）、岩井久美子（4-6）、風岡 修（7-10）、吉田 剛（11-14）、川辺孝幸（15-18）	座長：吉田英一・渡部芳夫（1-7）、梅田浩司・高橋正樹（8-12）
14：30	14：30 T10-O-1 日本列島構造発達史と太平洋型造山運動論。丸山茂徳・鈴木和恵・中間隆晃	14：30 R22-O-3 佐倉市畔田沢における水文と地質環境。岩井久美子・田村嘉之・特定非営利活動法人水環境研究所	14：30 T16-O-1 地質環境の超長期将来予測について。高橋正樹
14：45	14：45 T10-O-2（招待） 次世代高分解能レーザーアブレーションICP質量分析法の開発とその地質学的応用。平田岳史・牧 賢志・横山隆臣・鈴木敏弘・昆慶明	14：45 R22-O-4 千葉県に分布している湧水の地質環境その2。田村嘉之・岩井久美子・特定非営利活動法人水環境研究所	14：45 T16-O-2 ESR熱年代学による断層活動性評価：台湾チェルンブ断層掘削計画Hole Bコアを例として。福地龍郎・今井 登・徐 垣・宋 聖榮
15：00	15：00 T10-O-3 碎屑性ジルコン年代学：その効能と今後の展望。山本伸次・小宮剛・磯崎行雄・青木一勝・李野修士・中間隆晃・丸山茂徳・牧 賢志・横山隆臣・平田岳史	15：00 R22-O-5 甲府盆地北部域の地下構造の解明と地下水探査。輿水達司・尾形正岐・小林 浩・内山 高・北原 賢	15：00 T16-O-3 物質科学的手法による断層活動性評価手法の開発 - 鳥取県西部地域における研究事例 -。宮下由香里・小林健太・伊藤順一・間中光雄・福土圭介・亀井淳志・渡部芳夫
15：15	15：15 T10-O-4 構造侵食は沈み込み帯から物質を持ち去るのか？植田勇人	15：15 R22-O-6 ヘキサダイアグラムで見る斐伊川水系及び周辺河川の特徴。池田友里恵・齋藤 有・中野孝教・酒井哲弥	15：15 T16-O-4 堆積岩地域における広域地下水流動モデルの多面的検証手法の検討。伊藤一誠・萩沼真之・内田雅大・関 陽児・竹野直人・宗像雅広
15：30	15：30 T10-O-5 碎屑性ジルコンの年代頻度分布法を用いたスコットランド北東部Buchan変成帯及び南西部Ballantrae火成複合岩体の構造発達史の解明。鈴木佑允・山本伸次・青木一勝・昆 慶明・丸山茂徳	15：30 R22-O-7 廃棄物埋立跡地での汚染物質流出防止対策に伴う現象 - 特に地盤沈下や小動物の発生 -。楠田 隆・吉田 剛・古野邦雄・香川 淳・笠原 豊・柳 敏和・田村嘉之・石井泰裕・風岡 修・加藤晶子・山本真理・酒井 豊	15：30 T16-O-5 ベントナイトの止水機能の長期変質評価手法について。向井雅之・澤口琢磨・片岡理治・塚田 学・前田敏克・田中忠夫
15：45	15：45 T10-O-6 茨城県日立地域の新たな碎屑性ジルコン年代と地質構造。金光玄樹・大藤 茂・下條将徳・平田岳史・横山隆臣	15：45 R22-O-8 液状化発生の地表面観測地震波形と地中観測地震波形—平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震のKnet CHB024と稲毛地中地震計（INAG34）（GL-34m）観測データから—。酒井 豊・加藤晶子・楠田 隆	15：45 T16-O-6 遠心力載荷模型試験による高レベル放射性廃棄物処分場周辺の長期挙動評価。西本壮志・岡田哲実・澤田昌孝
16：00	16：00 T10-O-7 徳島県木頭名変成岩類の再訪：西南日本古生代前期高压片岩の年代学的再検討。宮下 敦・辻森 樹	16：00 R22-O-9 千葉県内の観測井に現れた2011年東北地方太平洋沖地震の影響（速報）。香川 淳・古野邦雄・山本真理	16：00 T16-O-7 Fate of plutonium derived from the atomic bomb detonated at Nagasaki, Japan. 岩田 孟・坂巻景子・安田健一郎・大貫敏彦・宇都宮 聡
16：15	16：15 T10-O-8 三波川帯変成岩類中の碎屑性ジルコンの年代。下條将徳・青木一勝・大藤 茂・横山隆臣・平田岳史・金光玄樹・柳井修一	16：15 R22-O-10 平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震による瓦屋根被害分布—千葉県習志野市谷津付近の被害調査から—。酒井 豊	16：15 T16-O-8 地質環境の超長期評価に伴う不確実性に対する取り組み。後藤淳一・幡谷竜太・江橋 健・石黒勝彦・土 宏之
16：30	16：30 T10-O-9 日本列島における白亜紀の構造浸食作用。青木一勝・山本伸次・磯崎行雄・牧 賢志・横山隆臣・平田岳史	16：30 R22-O-11 GPS測距による千葉湾岸地域における地盤変動の観測。加藤晶子・古野邦雄・香川 淳・楠田 隆・風岡 修・酒井 豊・吉田 剛・山本真理	16：30 T16-O-9 想定外事象に対する地層処分の閉鎖前セーフティケース。河村秀紀・納多 勝・八塩晶子
16：45	16：45 T10-O-10 長崎変成岩類および隣接する地質単元からの新たなウラン—鉛ジルコン年代。高地吉一・大藤 茂・小原北士・折橋裕二・宮田和周・下條将徳	16：45 R22-O-12 干涉SAR解析を用いた2011年東北地方太平洋沖地震に伴う東京湾臨海域の液状化分布の検出。石塚師也・辻 健・松岡俊文・水野敏美	17：00 T16-O-10 地層処分における立地での地質変動の超長期影響に対する安全評価の指標について。大坪 誠
17：00	17：00 T10-O-11 九州西部天草ピシャゴ岩高压グラニュライトのジルコンU-Pb年代と大陸地殻下底における火山弧から前弧への物質供給の可能性。宮崎一博・福山繭子・有馬和宏・池田 剛・牧 賢志・Yui Tzen-Fu・Grove Marty	17：00 R22-O-13 利根川下流域における東日本大震災による液状化・流動化被害—茨城県稲敷市・河内町の例—。藤崎克博	17：00 T16-O-11 地質環境の超長期予測の課題：山地の発達段階の評価。安江健一・谷川晋一・梅田浩司・須貝俊彦・大森博雄
17：15	17：15 T10-O-12 八重山変成岩類の碎屑性ジルコン年代と形成場。石塚英男・市木克洋・小山内康人・中野伸彦・足立達朗・吉本 紋	17：15 R22-O-14 房総半島でみられた2011年東北地方太平洋沖地震およびその余震による液状化—流動化現象—房総半島の概要と東京湾岸埋立地域の詳細について—。風岡 修・古野邦雄・香川 淳・楠田 隆・酒井 豊・吉田 剛・加藤晶子・山本真理・高梨祐司・楡井 久	17：30 T16-O-12 地質環境の長期挙動評価における不確実性について。吉田英一・渡部芳夫・高橋正樹・梅田浩司
17：30	17：30 T10-O-13 肥後変成帯、阿武隈変成帯、領家変成帯のジルコンSHRIMP U-Pb年代と微量元素組成。牧 賢志・福山繭子・宮崎一博・Yui Tzen Fu・Grove Marty	17：30 R22-O-15 液状化と環境地質。上砂正一	
17：45	17：45 T10-O-14 衝突帯の変成作用と中圧型変成岩。大森聡一・眞砂英樹	17：45 R22-O-16 大地震からの復興は、災害履歴を地質環境史に編むことからはじめよう！初倉克幹・志岐常正・風岡 修・古野邦雄	
18：00	18：00 T10-O-15 韓国Ogcheon帯中・古生層の碎屑性ジルコン年代。勝部亜矢・早坂康隆・坂口 綾・高橋嘉夫・姜 志勲	18：00 R22-O-17 東日本大震災の津波堆積物の性質とリスク評価（第一報）。土屋範芳・山崎慎一・山田亮一・平野伸夫・岡本 敦・小川康正・渡邊隆広	
18：15	18：15 T10-O-16 日本列島形成史再訪：弧地殻の肥大と縮小の歴史。磯崎行雄・青木一勝・山本伸次・中間隆晃・丸山茂徳・大森聡一	18：15 R22-O-18 日本海溝への高レベル放射性廃棄物投棄問題と2011年東北太平洋沖地震—地震発生メカニズムへの疑問と東関東の太平洋沿岸南部を襲った津波—。楡井 久・楡山知代・風岡 修・木村和也・楠田隆・高島英世	

*R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。

*プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。

■9月10日（土）午後

会場	共通36	
	R15. 堆積相・堆積過程	
	座長：市原季彦（1-3）、山口直文（4-7）、成瀬 元（8-10）、西田尚央（11-13）	
14：30	14：30 R15-O-1 東日本太平洋沖地震津波の潮上と海水氾濫による堆積作用。 箕浦幸治・平野信一・山田 努・飯島耕宗	
	14：45 R15-O-2 東北地方太平洋沖地震津波堆積物の特徴：岩手県陸前高田市の調査結果速報。 山下翔大・新井和乃・成瀬 元・高橋宏樹・松本弾・田中源吾	
	15：00 R15-O-3 仙台平野の沿岸低地を遡上した津波堆積物。 高清水康博・ト部厚志・鈴木幸治	
	15：15 R15-O-4 混濁流の古水理条件の推定：手法間の比較。 新井和乃・成瀬元・長谷川裕樹・伊藤 慎	
	15：30 R15-O-5 泥池化過程の小型海盆で生成するタービダイト層序パターン：水槽実験による解析。 高橋宏樹・成瀬 元・武藤鉄司	
	15：45 R15-O-6 ハイパーピクナル流の挙動に関する野外および水槽実験からの考察。 坂井 卓・管 舞子	
	16：00 R15-O-7 海底土石流堆積物に発達する渦構造と波動構造。 中屋志郎	
	16：15 休憩	
	16：30 R15-O-8 前弧堆積盆の堆積盆埋積システムと構造規制バリエーション：東海沖更新統と三陸沖～石狩古第三系の例。 高野 修・伊藤康人・古川稔子	
	16：45 R15-O-9 更新統東海層群多良層の三角州堆積物中の地滑り堆積物と地滑りの運動像。 酒井哲弥・池田友里恵・北堀建太・田端英雄	
	17：00 R15-O-10 陸棚堆積物中の fluid mud 堆積物の形成プロセス：福岡遠賀川河口沖。 西田尚央・池原 研	
	17：15 R15-O-11 ルミネッセンス特性から推定される遠州灘における近年の砂粒子運搬過程。 白井正明	
	17：30 R15-O-12 大阪平野西部における古墳時代中期の汀線堆積物。 中条武司・趙哲済	
	17：45 R15-O-13 阿蘇カルデラ西麓に発達する緩傾斜含巨礫扇状地の形成とカルデラ湖決壊洪水の可能性。 片岡香子・宮縁育夫	

共通 3 大	
T17. 新展開沈み込み帯地震発生帯科学	
座長：橋本善孝（1-5）、金川久一（6-10）、氏家恒太郎（11-16）	
14：30 T17-O-1 海溝型超巨大地震と比較沈み込み学パラダイムの崩壊。 木村 学	
14：45 T17-O-2 沈み込み帯のシリカ堆積物の脱水と変形－美濃帯犬山地域。 比名祥子・濱田洋平・山口飛鳥・亀田 純・木村 学	
15：00 T17-O-3 コスタリカ沈み込み帯における最新の掘削成果：IODP Expedition 334。 氏家恒太郎・Vannucchi Paola・Malinverno Alberto・Stroncik Nicole・第334次航海乗船研究者一同	
15：15 T17-O-4 コスタリカ前弧斜面における応力場の復元：IODP Exp. 334で実施されたLogging-while-drillingの成果。 齋藤実篤・山本由弦・林為人・北村有迅・橋本善孝・Malinverno Alberto・氏家恒太郎・Vannucchi Paola・Stroncik Nicole・IODP第334次研究航海乗船研究者	
15：30 T17-O-5 Costa Rica浸食型沈み込み帯における応力および構造解析：IODP Expedition 334の速報。 山本由弦・林 為人・臼井洋一・金松敏也・齋藤実篤・Zhao Xixi・橋本善孝・氏家恒太郎・Vannucchi Paola・Expedition 334乗船研究者	
15：45 T17-O-6 制御震源探査に基づく伊豆小笠原弧多重衝突・沈み込み構造。 新井隆太・岩崎貴哉・佐藤比呂志・阿部 進・平田 直	
16：00 T17-O-7 南海トラフ付加体の構造形態：コア－坑内検層－震探データの比較。 山田泰広・McNeill Lisa・Moore Casey・中村恭之	
16：15 T17-O-8 (招待) Splay faults show above-lithostatic fluid pressures and flow from deep sources, Kumano NanTroSEIZE transect, SW Japan. J. Casey Moore・Myles Barrett・Moe Kyaw Thu	
16：30 T17-O-9 過去の沈み込みプレート境界地震断層における弾性波速差と異常流体圧の推定：四国白亜系四万十帯牟岐メランジュ。 橋本善孝・土居憲昭・辻 健	
16：45 T17-O-10 Submarine and on land comparison between Nankai Trough and Miura-Boso prisms：Results of submersible study. 小川勇二郎・川村喜一郎・安間 了・道口陽子・村岡 諭・乗船および陸上研究者YK05-08 Leg 2 and YK08-04	
17：00 T17-O-11 海底地すべりの発生メカニズム－南海トラフと日本海溝－。 川村喜一郎・金松敏也	
17：15 T17-O-12 東南海地域における過去約4000年間の古津波記録。 藤野滋弘・木村治夫・宍倉正展・小松原純子・行谷佑一	
17：30 T17-O-13 南海トラフ分岐断層物質の示す摩擦速度依存性と変形組織。 堤 昭人・氏家恒太郎・Fabbri O.	
17：45 T17-O-14 南海トラフ付加体のタービダイト起源泥岩と半遠洋性泥岩の力学的・水理学的性質の相違。 金川久一・東 修平・高橋美紀・井上厚行	
18：00 T17-O-15 断層ガウジにおける摩擦発熱と高速せん断指標確立に向けた実験的研究：南海付加体巨大分岐断層の例。 仲小路理史・氏家恒太郎・堤 昭人	
18：15 T17-O-16 日本列島のテクトニクスと東日本巨大地震。 新妻信明	

MEMO

※R1～R5, T1～T8は日本鉱物科学会扱いのセッション。S1～S3, R6～R25, T9～T20は日本地質学会扱いのシンポジウム・セッションです。講演番号は双方の学会の付け方に準じています。
※プログラムと講演要旨とで発表題目や共著者名が異なっている場合、講演要旨を正しいものとします。